

医療現場実演や役割紹介

人材獲得へ 積善病院で見学&質問会

ハローワーク豊橋

ハローワーク豊橋（豊橋市太田町）は21日、同市二川町の積善病院で「医療現場の見学&質問会」を開いた。医療や介護の仕事に興味を持つ15人が参加した。

あいさつに立った菊地伸治所長は、「医療・介護業界は人手不足が叫ばれ、人材が必要になる職種。現場の生の声を聴き、体験をしてみ

1人でも多くの人が就職し、活躍することを期待する」と話した。

会では、病院側から急性期病院と慢性期病院の役割や院内の職種、資格の取り方などの説明があった。その後、看護師の案内で、クランクバス（浴槽）や病室など院内を見学。患者役の人形を使って、ベッドからストレッチャーに移すスライ

ディングボードの実演もあった。

参加者からは「浴室内は暑いのでは？」「何人で介助する？」「男性は何割？」「認知症患者が多い？」など盛んに質問が出ていた。

市医師会の協力で、豊橋准看護学校シンシア（中野町）の説明もあり、会は終了した。参加者の1人で、前職は急性期病院の

看護師だった松下那美さん（34）は「慢性期病院はどんな所か興味があった。入浴介助は前職では体験する機会がなく、看護の視点からも参考になった。参加してよかった」と感想を話した。

ハローワーク豊橋は2カ月に1回程度、さまざまな企業などの見学会を開いている。

（原田ひとみ）



クランクバスの見学（積善病院で）